



FAIRTRADE  
JAPAN

# 国際フェアトレード認証 ライセンサー業務ガイド

ーフェアトレード業務担当者向けのご案内ー

認定NPO法人フェアトレード・ラベル・ジャパン

2024年7月<更新版>

# Welcome !



ようこそ！このガイドは、国際フェアトレード認証のライセンス契約を締結された事業者（ライセンシー）の担当者向けに、ライセンス及び認証に伴う各種業務についてご案内するものです。はじめて認証を取得された際や、担当者の変更による引継ぎの際にご活用ください。

## Licensing Fairtrade Mark

ライセンスは、貴社の製品が国際フェアトレード基準を満たす製品であることを承認し、認証ラベルの使用権を付与するサービスです

国際フェアトレード認証ラベルは、Fairtrade International(FI)の独占的所有物であり、世界知的所有権機関WIPOに登録された国際的な登録商標です（国際商標登録番号：第0806431号）。FLJはFIよりライセンス許可を得た日本における認証ラベルの専用使用権者であり、ライセンスを許可することのできる唯一の法人です。



お問い合わせ先：

特定非営利活動法人フェアトレード・ラベル・ジャパン

ライセンス担当：toshima@fairtrade-jp.org (戸嶋)

# Index



1. 概要：認証ラベルについて	4~	3. 販売報告・請求	21~
国際フェアトレード認証ラベルの種類	5	販売報告	22
製品認証ラベルと原料調達ラベル	6	輸入報告（※認証輸入者）	23
物理的トレーサビリティとマスバランス	7	年間認証料・年間ライセンス認証料	24
認証ラベルの申請区分	8	ライセンス料の使途	25
認証ラベル使用規定について	9、10		
2. 認証ラベルの使用申請(CONNECT)	11~	4. 認証・監査	26~30
CONNECTについて（アカウント発行・変更）	12	5. 販売促進・普及啓発	31~
①製品登録	13	フェアトレード情報提供	32
(2)国際フェアトレード認証ラベルのルール	14	フェアトレード情報発信	34
(3)例外申請	15	取引先（非認証事業者）によるプロモーション	35
(4)製造委託先の登録（※認証製造者）	16	ネットワーキング・連携サービス	36
②販促品アートワークの申請	17	普及啓発活動（ミリオンアクションキャンペーン）	37
(2)申請が不要なケース・掲載不可のケース	18	年間カレンダー	38
(3)ラベル掲載事例	19		
(4)取引先での認証ラベルの掲載	20	6. リンク集	39~
		規定関連	40
		フェアトレード関連資料	41
		情報発信・普及関連	42



# 1. 概要：認証ラベルについて



ここでは認証ラベルの種類や仕組みについてご説明します。最初に目を通していただくようお願いいたします！

## 国際フェアトレード認証ラベルの種類

認証ラベルには以下の種類があります。

製品に合った適切なラベルを掲載ください。



▶物理的トレーサビリティがとれているフェアトレード原料を100%使用する製品  
(コーヒー、紅茶、バナナ、スパイスなど)



▶フェアトレード原料を20%以上使った複合製品およびマスバランスで調達されたカカオ、砂糖、フルーツジュース、茶を使用する製品



▶製品に使用される綿が全て物理的トレーサビリティが確保されたフェアトレードコットンで、製品の50%以上を綿が占める製品 (※ユニフォーム・ワークウェアは30%以上)



Contains  
Fairtrade  
ingredients

▶フェアトレード原料を5%以上使用した塗布タイプの化粧品類、2%以上使用した洗い流すタイプの化粧品類のマーク

## 国際フェアトレード原料調達(FSI)ラベル



▶複数の原材料で作られた製品で、右のタブに示される特定の原料のみがフェアトレード認証原料である製品。  
法人単位で単一のフェアトレード認証原材料の調達量を増やしていくことをコミットメントされた製品につけられるマーク

# 製品認証ラベルと原料調達ラベル

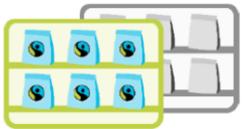
## 黒ラベルと白ラベルの違いについて

	 国際フェアトレード認証ラベル (1989年～制度スタート)	 国際フェアトレード原料調達ラベル (2014年～制度スタート)
概要	製品を認証する制度	法人単位でフェアトレード調達を促進する制度
主なポイント	当該製品の原材料のうち、 <u>できる限り多くの認証原材料を使用し、認証するプログラム</u>	法人単位で単一のフェアトレード認証原材料の調達量を増やしていくことを <u>コミットし拡大を目指していくプログラム</u>
使用する原料	フェアトレード認証対象原材料は <u>全て認証原料</u> でなければならない	コミットの対象とした原料のみ認証原料であれば良い
原料の含有率	フェアトレード認証対象原材料は原則100%使用し、かつ全原材料中フェアトレード含有率20%以上の製品を認証する。	全原材料中の含有率は問わない
含有率の製品表示	含有率を製品パッケージに <u>表示する必要あり</u>	含有率を製品パッケージに表示する必要なし
認証ラベルの表示	商品パッケージ上で可能 製品以外のオフパック・コミュニケーション（販促物）でも使用可能	商品パッケージ上で可能 製品以外のオフパック・コミュニケーション（販促物）でも使用可能
法人としての調達量宣言	不要	法人としての調達量宣言が必要 （調達割合や重量などの調達目標を記載）
年間ライセンス認証料	5万円	20万円
ライセンス料	小売価格の1%または重量課金	小売価格の1%または重量課金

# 物理的トレーサビリティとマスバランス

## 矢印の無いラベルと有るラベル

※矢印はマスバランス以外に複合原料製品にも付きます

	 物理的トレーサビリティ 	 マスバランス 
概要	フェアトレード認証原料を物理的に非認証原料と区別して取り扱い、追跡が可能である。	フェアトレード認証原料と非認証原料を厳格な条件に従って混ぜることを認める基準。マスバランス(Mass Balance)とは、質量によるトレーサビリティを意味し、購入質量＝販売質量となる。
対象の原料	全てのフェアトレード認証原料	カカオ、砂糖、ミックスジュース、茶、コットン、ゴールドソーシングプログラム
基準	フェアトレード生産者はFLOCERTの物理的トレーサビリティ(Voluntary Physical Traceability) 監査を受け、認証ステータスで証明しなければならない。※たとえ他原料との混合がなくとも、監査で証明を受なければマスバランス扱いとみなされる。	フェアトレードトレーダーは、フェアトレードとして販売される原料の質量が、フェアトレードとして調達される投入物の質量と同等であることを保証する。ただし、同種・同質の原料に限るものとし（例：有機やグレードなど）、変換は物理的に可能な方向にのみ行うことができる（例：カカオ豆からカカオマス※逆方向は不可）。
書類上の識別	取引書類（契約書やインボイスなど）に物理的トレーサビリティ(VPT)であることを記載すること。	取引書類（契約書やインボイスなど）にマスバランス(MB)であることを記載すること。
パッケージ上の表示	認証ラベル（矢印なし）を使用し、フェアトレード説明文は「物理的トレーサビリティ版」を使用する。 例：原材料のコーヒー豆はフェアトレード認証生産者から基準に従って調達された認証原材料です。	認証ラベルは矢印付きを使用し、フェアトレード説明文は「マスバランス基準版」を使用する。 例：この製品に使用されたカカオと同等量が国際フェアトレード基準に従って調達されていますが、フェアトレード認証カカオは、生産や加工の過程で非認証カカオと混合されることがあります（マスバランス基準）。
関連情報		<ul style="list-style-type: none"> <li>動画：<a href="#">Fairtrade and Traceability - How does it work?</a></li> <li>マスバランス入門 (<a href="#">CONNECTドキュメント</a>)</li> </ul>

## 認証ラベルの申請区分

認証ラベル掲載の申請は、認証製品のパッケージに掲載する場合と、製品以外の販促品等へ掲載する場合があります。

### ① 製品への貼付 (ON-PACK)：有料 (ライセンス料)

国際フェアトレード基準を満たす製品であることを認証された製品には、国際フェアトレード認証ラベルを貼付して販売することができます。

●製品は、製造開始前にオンラインシステムCONNECTより承認を受ける必要があります。申請・承認前の製造・販売は監査での不適合となりますのでご注意ください。

●製品への貼付には**ライセンス料**の支払いが発生します。四半期ごとに販売数量・価格の報告が必要です。※小規模ライセンスは1年ごと

### ② 販促品への貼付 (OFF-PACK)：無料

製品カタログやチラシ、ウェブサイト、SNS、メニュー表、バナーなど、様々な販促品に、国際フェアトレード認証ラベルを貼付することができます。

●販促品は、印刷・発行前にオンラインシステムCONNECTより承認を受ける必要があります。申請漏れは監査での不適合の対象となりますのでご注意ください。

●販促品への貼付には、費用は徴収していません。

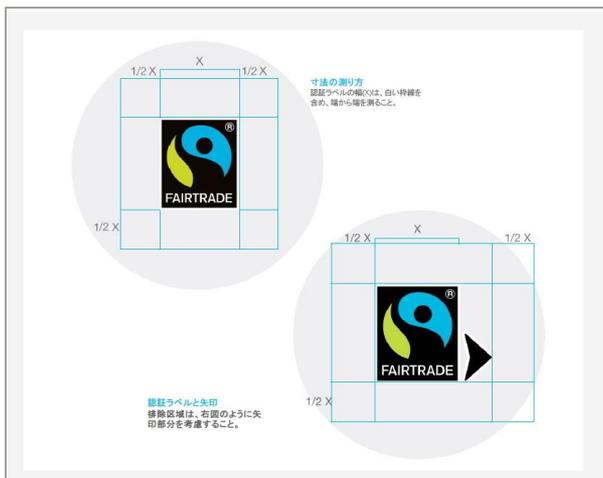
※「認証ラベル・FSIラベル使用許可申請フォーム」及び「FormE認証ラベル・FSIラベル使用許可申請フォーム」の使用は2023年6月末をもって運用を終了しました。以降は、CONNECTの「アートワーク申請」からの提出・承認となっています。

# 認証ラベル使用規定について



「国際フェアトレード認証ラベル使用規定」には、製品や販促品にラベルを表示する際のラベルサイズや指定色、排除区域、表示位置、製品ごとの表示指示などの各種規定が定められていますので、必ずご確認ください。

※コットン製品、化粧品類、金製品及びFSIラベルは個別規定が定められていますので、対象製品のライセンシーは個別の規定をご確認ください。規定はCONNECTのドキュメントよりダウンロードできます。ラベル使用規定は、必要な場合にデザイナーや印刷会社、取引先などへ共有することができます。



### フェアトレード説明文

#### 物理的トレーサビリティ版

Applicable for:  
使用されるすべての認証原料の物理的トレーサビリティが確保されている認証製品には適用されます。

(注1) 原料として、茶、小麦、カカオ、フルーツジュースを原料としない認証製品、ただし、茶、小麦、カカオ、フルーツジュースの場合で、主要産地から製造経路までのサプライチェーンでトレーサビリティが保証されている場合は物理的トレーサビリティ版を使用できます。

(注2) 原料の物理的トレーサビリティが確保されている認証原料は、フェアトレード認証生産者から直接調達して製造された認証原料です。全原材料中の含有率: 100%  
特定産地別認証輸入フェアトレードラベル・ラベル  
詳細についてはこちら: [www.fairtrade.jp](http://www.fairtrade.jp)

(例)  
フェアトレードは、公正な取引条件、社会発展および環境保護を促進することにより、開発途上国の生産者の持続可能な事業に貢献しています。

原材料のトレーサビリティ版は、フェアトレード認証生産者から直接調達して製造された認証原料です。全原材料中の含有率: 100%  
特定産地別認証輸入フェアトレードラベル・ラベル  
詳細についてはこちら: [www.fairtrade.jp](http://www.fairtrade.jp)

A-2 格式版、スペースが限られている場合  
原材料の物理的トレーサビリティが確保されている認証原料は、フェアトレード認証生産者から直接調達して製造された認証原料です。全原材料中の含有率: 100%  
[www.fairtrade.jp](http://www.fairtrade.jp)

(注)  
原材料のカウンターパート、レーベル、アーベルはフェアトレード認証生産者から直接調達して製造された認証原料です。全原材料中の含有率: 100%  
[www.fairtrade.jp](http://www.fairtrade.jp)

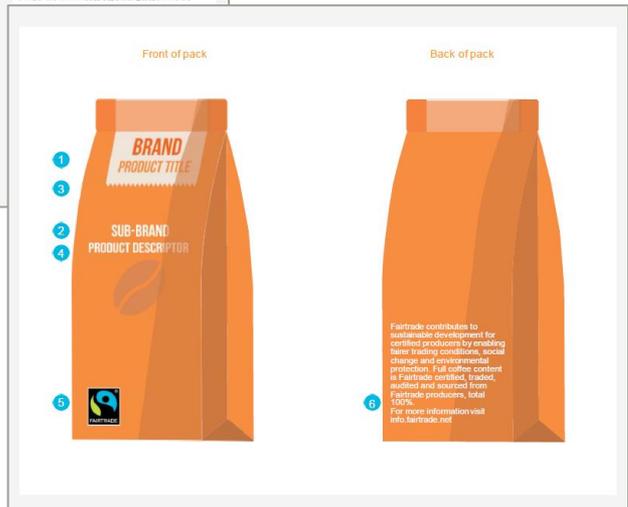
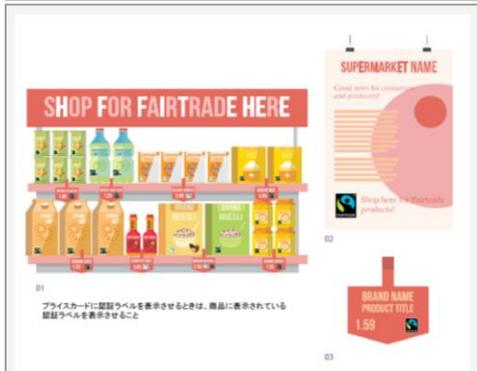
A-3 追加テキスト

- この製品を購入するときは、開発途上国の生産者や労働者の労働条件と生活状況の改善および環境保全の促進につながります。
- この製品を購入するときは、開発途上国の認証原料の生産者がフェアトレードのシステムを通じて、生産者から得た地域社会と生産環境を改善し、持続可能な事業を切り出すことができます。
- フェアトレードは、開発途上国の認証原料の生産者や労働者の生活と労働環境を改善し、持続可能な事業のために生産者が自らの方で地域社会や環境を改善していることにつながります。
- フェアトレードラベル・ラベルは、開発途上国の生産者や労働者の生活と労働環境を改善し、持続可能な事業を切り出すことができます。フェアトレードは、公正な取引条件、社会発展および環境保護を促進することにより、開発途上国の生産者の持続可能な事業に貢献しています。

★ QUICK ACCESS ★

[認証ラベル使用規定 \(V3.1\)](#)

※最新バージョンは [CONNECT](#) へ



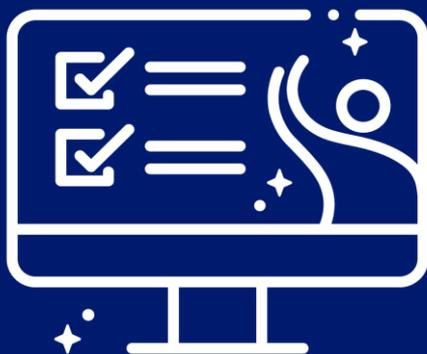
# 認証ラベル使用規定について

## 申請の際によくある間違い

### QUICK CHECK!

- 正しい認証ラベルを使用していますか？  
→複合製品やマスバランス原料を使用した製品は矢印付きマークを使用してください。
- 認証ラベルの周囲に十分な余白が確保されていますか？  
→ラベル横幅をXとしたとき、最低1/4X(推奨1/2X)以上の排除区域を設けること。
- 認証ラベルのサイズは十分ですか？  
→ラベル横幅7mmを下回るサイズは使用不可です。製品推奨サイズ11mm~
- ブランドロゴの掲載を忘れていませんか？認証ラベルがブランドロゴより目立っていませんか？  
→製品・販促物に認証ラベルを使用する時は、必ずブランドを認証ラベルより目立つように表示すること。
- フェアトレード説明文のURLに「http://」がついていませんか？  
→「詳しくはこちら [www.fairtrade-jp.org](http://www.fairtrade-jp.org)」と記載ください。  
**※注意※2020年に改定されています。それ以前に作成されたデザインにはhttp://がついている場合があるので、デザイン改変の際にご注意ください。**
- フェアトレード原料100%でない商品名に「フェアトレード」とつけていませんか？  
→例：×フェアトレードカプチーノ ×フェアトレードチョコレートマフィン
- 販促物にラベルを多数使用していませんか？  
→メニューやポスターなどの販促物には、一媒体一か所のみ認証ラベルが使用できます。

## 2. 認証ラベルの使用申請(CONNECT)



世界中のライセンサーが  
使うマストなオンライン  
システム！これを使うと  
グローバルなFAIRTRADE  
ネットワークの一員に！

# CONNECTについて（アカウント発行・変更）



認証ラベルの使用許諾には、フェアトレードのオンラインシステムCONNECTからの申請が必要です。CONNECTは世界のライセンシーが共通で使用するグローバルシステムです。



<https://www.connectfairtrade.org/ja/Authentication/Login>

FLJとのライセンス契約締結後に仮認証が発行され、FLO-IDが付与されてから、数日中に企業アカウントが作成され、CONNECTシステムにオペレーター企業情報が登録されます。登録されるとCONNECTの[パートナー]より事業者情報(FLO-ID)が閲覧可能になります。

## 【CONNECTユーザーアカウントの発行】

フェアトレード担当者のCONNECTアカウントをFLJが作成し、メールで個別に仮パスワードが通知されます。申請書に記載された担当者が当初の「フェアトレード主担当」となりますが、CONNECTユーザーは企業あたり何名でも登録が可能です。契約担当者、製品開発担当者、販売報告担当者、経理担当者、広報担当者など、個別にアカウント登録することができます。

- アカウントの変更・追加の場合は、FLJライセンス担当までお知らせください。新規登録の際には①日本語表記の氏名、②アルファベット表記の氏名、③メールアドレス、④担当する業務、をご連絡をお願いします。
- アカウントのパスワードを忘れた場合は、FLJまでご連絡ください。再度、仮パスワードを送付します。

# ① 製品登録

## (1) フェアトレード認証製品の登録の流れ

新規で認証製品を導入する際は、製品を製造する前に、CONNECTからFLJに申請が必要です。FLJの審査・承認後に、製造及びパッケージの作成を始めることができます。未承認での製造・販売は違反となりますのでご注意ください。製品の導入にあたり不安な場合は事前にライセンス担当までご相談ください。登録方法については[CONNECTマニュアル](#)をご覧ください。

【ご用意いただくもの】

### ① フェアトレード原材料のサプライチェーン情報

(生産者、輸出組織、輸入組織、製造者などの名称またはFLOID)

**CHECK** サプライヤーの認証状況が有効（認証停止中でない）か？



Sourcing 調達  
タブで登録

### ② 製品に関する基本情報

(商品名、内容量、識別コード(JANなど)、販売予定日、レシピ、販売場所など)

**CHECK** 製造工程の一部を委託する場合は委託先の登録が必要です



Product 製品  
タブで登録

### ③ 製品パッケージ(必須)のデータ(pdf/jpeg)、

認証ラベル・フェアトレード説明文を掲載する販促物のデータ（製品タグ、値札カード、POP、チラシ、ウェブ用画像など）

**CHECK** 認証ラベル使用規定に基づいたデザインか？



Product 製品  
パッケージ・アート  
ワークで審査

## ①製品登録



### (2) 国際フェアトレード認証ラベルのルール

※FSIラベルは上記のルールに該当しません。FSIガイドラインをご確認ください。

- 原料が一種類の場合は、フェアトレード認証原料を100%使用すること。
  - 認証のブラジル産コーヒーと認証のコロンビアコーヒーのブレンド
  - ×認証コーヒーと非認証コーヒーのブレンド→ラベルはつけられません。
  
- 2種類以上の原料を使用する場合、入手可能な認証対象の原材料は全て使用すること。  
フェアトレード認証対象ではない原材料（小麦粉、塩、牛乳、添加物など）は使用可  
例：ミルクチョコレートの場合、カカオ・砂糖・バニラは認証原料、乳成分は非対象  
※不可避な理由があり認証原料の使用が困難な場合は例外適用の申請を行うこと
  
- 複合製品の場合、認証原材料を全原材料中の含有率20%以上（加工前の重量ベース）使用すること。  
水、乳成分が50%を超える場合は、含有率から除外することができる。  
表示例：全原材料中の含有率：XX%（水分を除く）
  
- 商品名に「フェアトレード〇〇」とつけられるのは、100%フェアトレード原料の製品のみ。
  - フェアトレードコーヒー
  - ×フェアトレードカプチーノ ×フェアトレードチョコレートマフィン
  - △チョコレートはカカオ、砂糖、バニラなど全てフェアトレード原料の場合のみ可。

# ①製品登録

## (3) 例外申請

国際フェアトレード基準に関する例外については、[例外規定\(R-20\)](#)にて定められています。

※下記は例外規定の抜粋です。詳細は規定本文をご確認ください。

### 【製品原料(食品)に関する例外】CONNECT「調達」より申請

(1)供給不足（干ばつ、自然災害、ストライキ、戦争など）

→認証原料の調達可能性を調査した上で、供給不可能な理由を証明

(2)品質上の理由（避けがたい技術的な問題が生じる場合）

→品質管理責任者の署名がなされた、該当原料が最終製品に適さない根拠を示す書類を提出

(3)調達における制約

→最少輸入量又は発注量が12カ月間の製造で必要とされる量を超過する場合など

(4)新しい産品基準の設定

→新しい認証原料を調達するための時間として、2年間の例外適用期間が付与

(5)入手不可能な原料

→承認委員会が作成する「入手不可リスト」に記載されている原料は、自動的に例外が適用

### 【製品パッケージに関する例外】CONNECT「製品>パッケージ」より申請

アートワークに申請したパッケージデザインに不備があり再申請とされたものの、やむを得ない理由があり修正ができない場合には例外を申請することができます。（使用期間：最大2年）

申請の際には、修正できない理由と緩和措置（例外を取り除くための今後の予定）を明記ください。

# ① 製品登録

## (4) 製造委託先の登録（※認証製造者）

認証製品の製造過程で、製品(原料)の所有権を持たない組織に製造を委託する場合には、認証製造者によるフェアトレード製造委託申請が必要となります。製造委託は複数事業者間で締結することができますが、CONNECTにて登録する製造組織には、最終的に認証事業者へ納品する事業者を登録ください。例：ドリップバッグやティーバッグなどに加工包装を外部委託する場合など

※単独ライセンサーは委託登録ができませんので、製造組織に委託手続きを依頼してください。

### 【提出書類】

#### ① [FormCフェアトレード製造委託申請書](#)

委託先事業者の名称や事業内容などの情報をご提出ください。

#### ② フェアトレード製造委託に係る覚書

トレーダー基準に定められた項目を明記した覚書をご提出ください。

### - 1.1.3: Registration and contracts with additional entities 追加施設の登録と契約の締結

「フェアトレードに関する業務を行う追加施設に対し、本基準を遵守し、認証機関が要求するとおり監査を受入れ、定期的な報告を行うことを、契約により要求すること。新規の追加施設で業務を行う際には、認証機関へ登録しなければならない。」

※定期的な報告を行うことについては最新の監査リストで定められていないため不要になりました

【提出先】 [application@fairtrade-jp.org](mailto:application@fairtrade-jp.org) またはライセンス担当（戸嶋）まで

### 【CONNECTでの登録】

製品 > 02レシピ > レシピ概要[編集] > 製造組織で委託先事業者を選択し、指定します。

※製造委託組織のアカウント登録はFLJで行いますので、選択肢にない場合はFLJまでお知らせください。

## ②販促品アートワークの申請

### (1) 販促品への認証ラベル・フェアトレード説明文の掲載について

国際フェアトレード認証ラベル及びフェアトレード説明文は、製品パッケージのみでなく、販促物や店頭、ECサイト、会社のウェブサイトなどでも掲載いただけますので、ぜひ様々な場面で積極的に掲載いただき、フェアトレードの取り組みをPRください。ただし、無断利用は監査で不適合になるのでご注意ください！掲載にあたっては[認証ラベル使用規定](#)をご確認ください。

※認証ラベルのみ、フェアトレード説明文のみの掲載の場合も、申請が必要です。

#### ●CONNECT申請が必要

- 会社のウェブサイト、総合パンフレット、カタログ、社内資料、展示会掲示物など
- 店頭メニュー、店頭POP、看板やボード、ポスター、バナー、のぼりなど
- オンラインショップの商品画像、ウェブバナー、広告、SNSなど

申請方法：

- 個別の認証製品に関する販促物（製品チラシ、値札、POPなど）
  - ➔ CONNECTの該当製品の[03パッケージ]より「アートワーク申請」にアップロード
- 製品に関わらない販促物（会社のHP、パンフレットなど）
  - ➔ CONNECT[製品]タブ>左メニュー「リスト」の「Artworks」管理画面より「新規作成」「アートワーク申請+」「販促物」にアップロード

※FormEによる承認印の発行およびウェブフォームは2023年6月末をもって使用終了しました。

## ② 販促品登録

### (2) 申請が不要なケース・掲載不可のケース

#### ● 申請不要

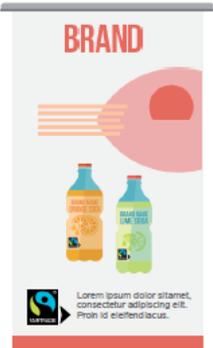
- ・ 認証製品のラベルが写りこんだ写真の掲載  
(例：オンラインショップやカタログの商品画像など)
- ・ すでに承認済みの販促物のデータを増刷する場合
- ・ FLJが提供するマテリアルをそのまま使用する場合  
(ただし、一部抜粋や編集を加えるなどの場合は、申請が必要です。)

#### ● 掲載不可

- × 名刺やレターヘッド、メール署名など、組織媒体に認証ラベルの使用はできません。
- × 「当社は国際フェアトレード認証事業者です」という言い方はできません。  
※認証ラベルは製品を対象としていますので「当社は認証製品(原料)を取り扱っています」という言い方をしてください。
- × 認証原料を使用しているも、製品登録していない製品へはラベル掲載できません。  
※認証製品を非認証事業者へ販売した場合でも、非認証事業者が再加工する製品には、ラベルやフェアトレード説明文を掲載することはできません。
- × フェアトレード対象産品で、認証を受けていない製品への認証ラベルの印刷は、普及目的でもできません。例：非認証コットン製の法人・イベント用Tシャツや販促・景品用エバッグなどに認証ラベルのついたデザインはプリントできません。

## ② 販促品登録

### (3) ラベル掲載事例

製品チラシ、ポスター	店頭用POP、値札	オンラインショップ
<p>※必ずブランドロゴを認証ラベルより目立つように配置してください。</p>		
		 <p style="text-align: center;">02</p>
<p>会社のHP</p>	<p>社内報、プレスリリース</p>	<p>年次報告書、株主向け資料</p>
 <p style="text-align: center;">02</p>	 <p style="text-align: center;">01</p>	 <p style="text-align: center;">01</p>

## ② 販促品登録

### (4) 取引先での認証ラベルの掲載

#### ▶ ライセンシーが作成する場合：

ライセンシーがメーカーとして販促物を製作し、直営店および営業先の小売店や飲食店、卸事業者などへ支給する場合には、ライセンシーがCONNECTより申請してください。

#### ▶ 取引先が作成する場合：

認証製品を仕入れた小売店が自店舗の値札や販促チラシ・ポスターなどに認証ラベルを付けたい場合や、飲食店が店舗で提供する際のメニューに掲載したい場合などには、製作者から「[国際フェアトレード認証ラベル使用申請フォーム](#)」に直接申請してもらってください。作成の際には、「[国際フェアトレード認証ラベル使用規定](#)」の販売促進マテリアルの項を確認の上、規定に沿ったデザインを作成の上、提出いただくようお願いします。

※ただし、フェアトレード認証製品を一部に使用したメニューが、認証を受けたと誤認されるような表示はできません。  
 ×フェアトレードカプチーノ → ○フェアトレード認証コーヒー使用  
 ×フェアトレードバナナラテ → ○フェアトレード認証バナナ使用



小売店の販促  
チラシ



飲食店の  
メニュー表

### 3. 販売報告・請求



ライセンスや認証の契約  
種別ごとに、報告期間や  
報告内容が異なります。  
ご自身の契約に沿って  
ご確認ください！

## 販売報告

ライセンシーは、四半期ごとに認証製品の販売数量及び販売金額をCONNECTより報告し、ライセンス料を支払います。

販売対象期間	報告期間	請求時期	支払い期限
第一四半期：1~3月	4/1~30	4~5月	5月末
第二四半期：4~6月	7/1~31	7~8月	8月末
第三四半期：7~9月	10/1~31	10~11月	11月末
第四四半期：10~12月	1/1~31	1~2月	2月末
※小規模ライセンシー：1~12月	1/1~31	1~2月	2月末

※報告期間の25日までに承認された報告分は当月中に請求書の発行が可能です。26日以降は翌月の請求書発行となる場合がありますので、ご了承ください。

## 【報告方法】

- ①報告期間が始まると、各担当者へメールで通知が届きます。
- ②CONNECT「販売報告」より販売数量及び販売金額を入力します。（※重量課金商品は販売数量のみ）

※エクセルでの報告を希望の場合は、[02レポート]>[■アップロード]>[テンプレートサンプルのアップロード]にて[Template]をクリックするとエクセルテンプレートを保存できます。

エクセルに入力後、ライセンス担当までメールでご提出ください。

※年間ライセンス料（支払済みライセンス料が年間ライセンス料を下回る場合）の請求は、12月までの販売報告が提出された後(1~2月)の請求になります。

## 輸入報告（認証輸入者対象）

輸入事業者（プレミアムペイヤー）は、四半期ごとに生産者から輸入した原料の数量及びプレミアムの金額等をFLJまたはFLOCERTへ報告します。

※取引量により年1回の報告の場合もあります。

※プレミアムのペイヤーでない輸入は報告対象外です。

輸入対象期間	報告期間
第一四半期：1~3月	4/1~30
第二四半期：4~6月	7/1~31
第三四半期：7~9月	10/1~31
第四四半期：10~12月	1/1~31
※年1回の場合：1~12月	1/1~31

【報告方法（FLJ認証トレーダーの場合※）】

- ①報告期間になると認証担当(等々力)より各担当者へメールで通知が届きます。
- ②様式H「[四半期報告書（輸入）](#)」に記入し、メールでご提出ください。

※FLOCERT認証事業者は、FLOCERTへ直接報告が必要です。

# 年間認証料・年間ライセンス認証料

年間認証料及び年間ライセンス料は、毎年1月に請求されます。

年間ライセンス料は、販売報告によるライセンス料の年間合計が、各区分の年間ライセンス料を下回る場合のみに差額が請求されます。

		費用(税抜き)				御支払の タイミング
		トレーダー（輸入・製造・卸）・ライセンサー			小規模※2 ライセンサー	
		年間総売上高※1 100億円以上	年間総売上高 1億円以上100億円未満	年間総売上高 1億円未満		
年間認証料		15万円 (追加製品ごとに +3万円)	12万円 (追加製品ごとに +2万円)	5万円 (追加製品ごとに +1万円)	—	毎年1月
年間 ライセンス 認証料	↓販売報告によるライセンス料の年間合計が下記の金額を下回る場合のみ、その差額を請求					毎年1月 ～2月
		5万円 (追加製品ごとに +1万円)	5万円 (追加製品ごとに +1万円)	3万円 (追加製品ごとに +5千円)	2万円 (追加製品ごとに +5千円)	

※1 年間総売上高は企業全体の売上高を指します

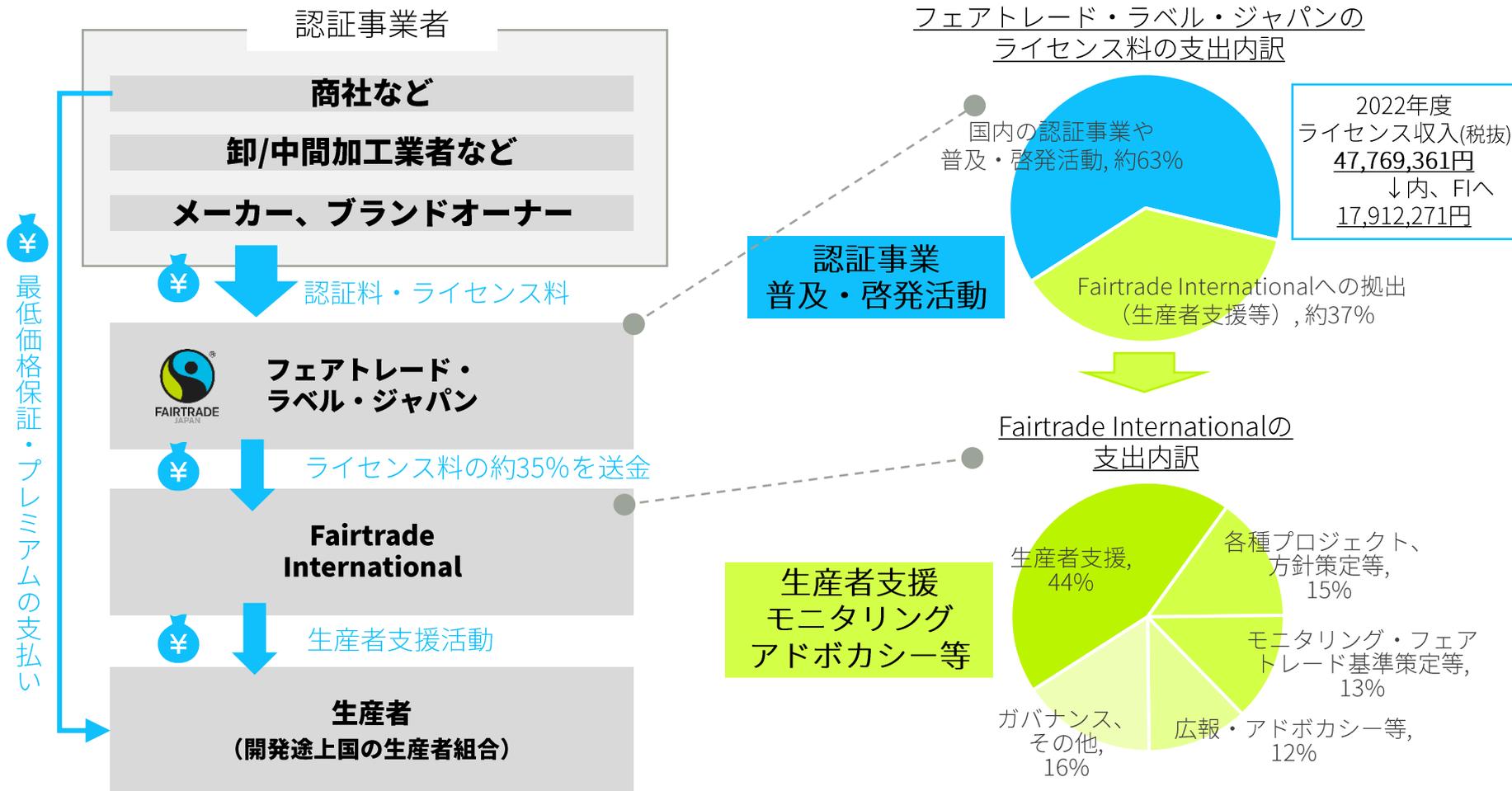
※2 小規模ライセンサーの定義：次の2条件を満たす組織

①年間総売上高が1億円以下

②最終製品の製造と販売もしくは販売のみを行う。（認証原料を生産者から輸入、原料の卸売をしていない）

# ライセンス料の使途

ライセンス収入の37%以上をFIへ拠出し  
生産者支援や基準策定等グローバル活動の財源となっています



ライセンス料は生産者への直接支援や、フェアトレード普及による生産者への還元拡大を目指す活動に充てられています

FLJ決算報告書は毎年ウェブサイト公開

## 4. 認証・監査



国際フェアトレード基準  
が守られているかの  
チェックです。日本全国  
監査に費用はかかりませ  
ん。（認証料に含まれて  
います）

## 認証・監査



認証・ライセンス事業者は、自社施設に対する告知あり/なしの監査を受け入れ、監査人に要求された情報開示を行うことが定められています。

監査では各事業者が国際フェアトレード基準を遵守した生産や売買を行っているかをチェックし、遵守していないと判断された場合には、一定期間内で改善していただくことが求められ、それでも改善されない場合には、認証一時停止や取消処置を行います。



【認証の種類】	認証サイクル	更新監査	中間監査
トレーダー認証 (輸入・卸・製造)	5年	5年毎	1~2年毎 計2回
ライセンス	6年	6年毎	3年毎

※ライセンス認証事業者で、トレーダー認証も同時に取得している場合は、**トレーダー認証サイクルで監査が実施**されます。

※2024年4月1日以降に実施される監査より変更が適用されます。詳しくは最新の規定をご確認ください。

### 【監査の流れ】

- ① 認証担当者より監査実施通知がメールで認証(契約)担当者へ送られます。
- ② 監査通知に記載の内容に沿って書類をご用意の上、監査が行われます（実地または書面）。  
 ▶ [監査のポイントと監査項目](#)    ▶ [様式P「原料購入・製造報告書」](#)
- ③ 監査結果が通知されます。不適合事項がある場合には、指定の期限内に是正措置の実行及び証拠書類を提出します。更新の場合は、新しい認証書が発行されます。

# 監査の分類と実施方法(2024年4月1日以降に適用)

監査の種類には、実施時期による分類と、実施方法による分類があり、それぞれリスクカテゴリーごとに設定され、認証担当より通知されます

## 実施時期による分類

監査の種類	説明	監査項目
初回監査	仮認証6カ月以内に実施される、契約締結後に初めて実施される監査	該当するすべての項目
中間監査	認証サイクルの途中で実施される監査	主要項目のみ
更新監査	認証サイクルの最終年に実施される監査	該当するすべての項目

## 実施方法

### 実地監査

工場や事務所に訪問して行う監査。中間監査でも、物理的トレーサビリティを確認する際には実地にて行う。

### 書類・リモート監査

認証事業者からの書類での報告を中心に適合を確認する監査。

NEW

2024年4月1日～

### 特定項目監査

認証原料（製品）の取引数量の確認、前回監査での不適合項目中心に、非常に限定された項目のみを書類で確認する監査

※中間監査のみに適用

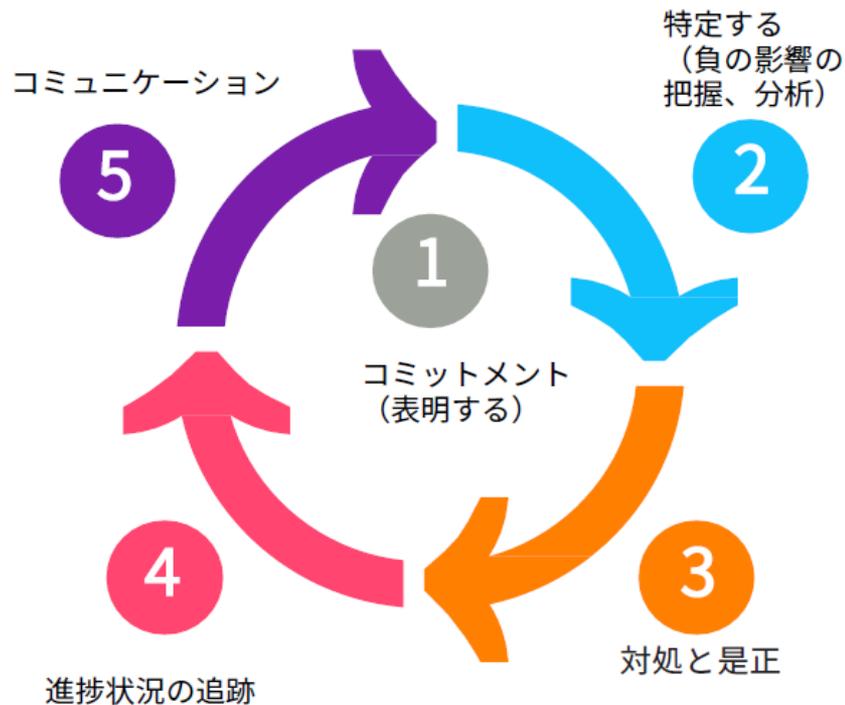
# 人権・環境デュー・ディリジェンス（HREDD）



2024年4月、トレーダー基準に人権・環境デューディリジェンス（HREDD）要件が追加されました。全てのトレーダーに対し、増大する人権・環境リスクを調査・特定し、防止およびトラブルに対処する取り組みとしてHREDDプロセスの実施が求められます。

## 5つのステップ

### HREDDプロセスのステップ



- 1.人権と環境の尊重を約束する(コミットメント)
- 2.自社の事業とバリューチェーン(※)における最大の人権・環境問題を特定する
- 3.それらの問題に対処し、改善・是正するための施策を実施する
- 4.進捗状況を追跡する
- 5.実施したことをステークホルダーに伝える

※サプライチェーンというのは、モノを供給する流れを可視化して供給体制の改善を図ることを目的として利用されることが多い一方、バリューチェーンは製品の製造や流通、販売といった各プロセスにおいてどのような価値が付与されているのかを可視化して、生み出す価値の最大化を図るためのもの。

## 認証・監査

各事業者の認証の状況は、FLJ(FLOCERT)ウェブサイト、オンラインシステムCONNECTにて公開されます。



### ● FLJウェブサイト >>認証事業者一覧はこちら

- ・国内の認証事業者の名称とロゴマーク（任意）が公開されています。  
※名称やロゴに変更があった場合はFLJまでお知らせください。
- ・認証事業者の一覧表（ウェブサイト、認証区分）が公開されます。国内での原料・製品の仕入れや、他の事業者との連携を検討される場合にぜひご活用ください。
- ・認証一時停止及び認証取消事業者のリストが公開されます。

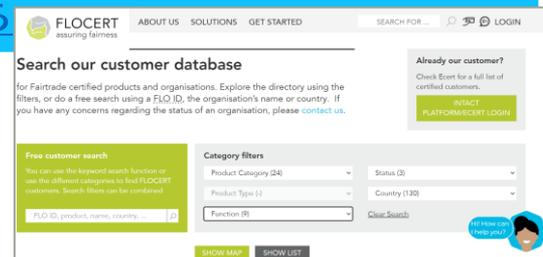
### ● CONNECT パートナー >>パートナーページはこちら

- ・CONNECTの「パートナー」メニューで、世界の認証事業者のステータスがリアルタイムで確認いただけます。
- ・輸入の際は、必ず取引先事業者の認証状況を事前にご確認ください。「認証取消(Not Certified)」の場合は取引いただけません。「一時停止(Suspended)」の場合は輸入可否についてFLJにお問い合わせください。



### ● FLOCERT ウェブサイト >>CUSTOMER SEARCHはこちら

- ・FLOCERTのCUSTOMER SEARCHにて、世界の認証事業者を産品や国、認証区分（生産者、製造者、トレーダーなど）を指定して検索できます。新しい取引先を探す際にご活用ください。※ただしFLOCERT認証組織に限ります。FLJ及びFairtrade Australia & New Zealand認証組織、単独ライセンシーは表示されません。



## 5. 販売促進・普及啓発



フェアトレードの販促・普及にお役立ち情報をご紹介します！上手に活用して、事業にお役立てください。

# フェアトレード情報提供（FLJ）



認証事業者がフェアトレード事業を行う上で役立つ情報を随時ご提供しています。

※下記の他にも生産者や製品に関する画像データや資料などが提供可能な場合があります。ご希望の場合は随時FLJまでお問い合わせください。

## ●営業用資料・報告書等の提供 >>ダウンロードはCONNECTから

最新のフェアトレード市場動向やフェアトレード説明用図表、イラスト素材など、認証事業者が自由に編集して利用可能な資料は、CONNECTドキュメント>「フェアトレードの資料」よりダウンロードできます。そのほか、2023年公開のHREDDガイドブックはCONNECTドキュメント>「国際フェアトレード基準の説明・監査」よりダウンロードできます。

## ●広報物・教材の貸与・販売 >>申込はこちら

フェアトレードに関するパンフレットやポスターのデータダウンロード(無償)、情報パネルや商品見本セット、バナナスーツ(着ぐるみ)の貸し出し(有料)を行っています。社内外の普及活動やイベントでの配布など、目的に応じてご活用ください。

## ●YouTube動画 >>@FairtradeLabelJapanアクセスはこちら

FLJのYouTubeアカウントからは、フェアトレードの説明動画や、過去のイベント・キャンペーン動画、フェアトレード生産者の様子、フェアトレード動画教材などの各種動画を無料で配信しています。社内外のイベントや販促活動で自由にご活用いただけます。

## ●メールマガジン

国内外の市場動向や最新情報、イベント情報などをご紹介しています。

>>メールマガジンへの登録はこちら

## ●その他各種SNS

・[Instagram](#) ・[Facebook](#)  
 ・[フェアトレード・ジャパンHP](#)では新着情報など随時情報をUPしています。

# フェアトレード情報提供 (Fairtrade International)

## ●プレミアム・世界市場動向(英語)

Fairtrade International 及びFLOCERTのウェブサイトでは、より詳しいフェアトレードのデータがご覧いただけます。

■ [Fairtrade Minimum Price and Premium Information \(Fairtrade International\)](#)

フェアトレード対象産品・地域ごとの最低価格・プレミアムの情報が閲覧可能

■ [Top 7 Products Dashboard \(Fairtrade International\)](#)

上位7品目：コーヒー、バナナ、カカオ、コットン、砂糖、茶、花の生産地域・生産量・プレミアムの金額や用途などの情報が閲覧可能

■ [Customer Search \(FLOCERT\)](#)

世界のフェアトレード認証組織(生産者、輸出者、製造者等)の基本情報や認証状況が閲覧可能

## ●フェアトレード・リスクマップ(英語) ※ブラウザのページ翻訳機能使用可

フェアトレードの産品や国・地域毎の人権と環境のリスクを一覧化したオンラインデータベース「フェアトレード・リスクマップ」を2023年に公開しました。世界中の企業に、人権・環境デュー・ディリジェンス(HREDD)が求められている今、企業が事業のリスクを特定する上で最適なツールの一つとして活用できます。  
[riskmap.fairtrade.net/](http://riskmap.fairtrade.net/)



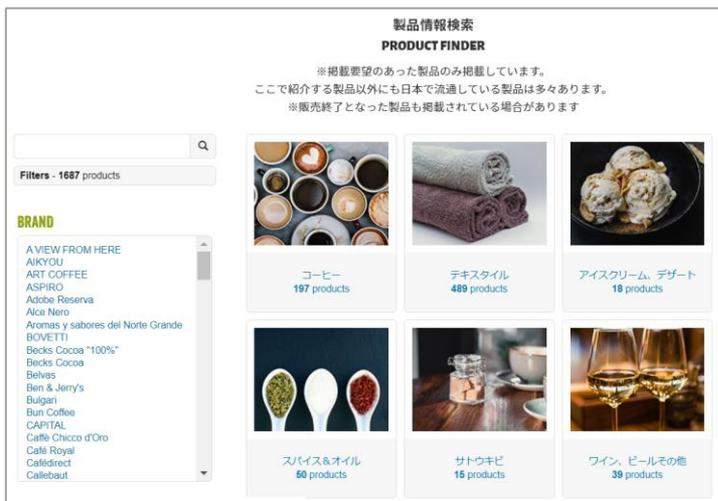
※上記の公開資料を掲載される場合は、出典元を明記ください。

## フェアトレード情報発信（FLJウェブサイト）

## ● Product Finderへの掲載

[Product Finder](#)はCONNECTと連動したフェアトレード認証製品掲載サービスです。掲載情報は、FLJウェブサイトの製品紹介ページからどなたでも閲覧可能です。

こちらに掲載されるのは、CONNECT[製品]>[05製品情報]>PackShotに画像をアップロードいただいている製品になりますので、掲載希望の場合は、CONNECTから設定ください。なお、海外の認証事業者がCONNECTの製品情報で販売国に日本を設定している製品も表示されますので、必ずしも国内流通がない場合もあります。



## ● ブランドリストへの掲載

[ブランドリスト](#)は、産品カテゴリーごとに、どんなブランドが認証製品を取り扱っているのか、どなたでも閲覧可能なページです。ブランドの認知を拡大し、商品購買をさらに促進するため、商品を販売しているブランドロゴを一覧で見ることができます。

登録はブランドオーナーまたは商品販売ECサイト(B to C)をお持ちの事業者が対象です。掲載を希望する方は[登録フォーム](#)より登録ください。

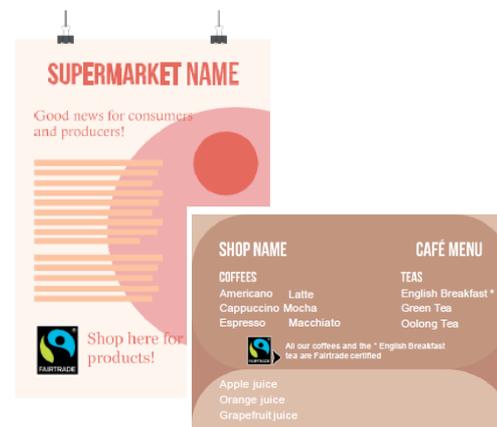


## 取引先(非認証事業者)によるプロモーション

## ●取扱店舗・飲食店での認証ラベルの掲載について

■ライセンス事業者がCONNECTで承認を受けた販促物については、取引先の小売店や飲食店へ配布し、自由に使っていただけます。

■非認証事業者の認証製品取り扱い小売店や飲食店も、店頭掲示物やカフェメニューなどの制作物に認証ラベルを記載することができます。掲載を希望される場合は、[認証ラベル・FSIラベル使用許可申請フォーム](#)からの申請が必要であることをお伝えください。特に、店頭の商品POPや飲食店のメニュー表などへ、無断での認証ラベルの使用がないようご注意ください。



## ●フェアトレード・パートナー制度（コーヒーロースター）

コーヒーについては、販売店が認証を取得することなく、フェアトレード認証コーヒー生豆を店舗で焙煎し販売することができる「フェアトレード・パートナー」制度があります。登録パートナーは、FLJから提供されるコミュニケーションキット（「フェアトレード認証コーヒー取扱店」ポスターやフライヤーなど）を掲示できます。ただし、製品パッケージに認証ラベルを貼付して販売することはできません。

≫ [パートナー制度について](#)      ≫ [パートナー登録フォーム](#)



# ネットワーキング・連携サービス

## ●ステークホルダー会合

認証製品を取り扱う事業者や取扱いを検討している事業者が一堂に会する会合を年に一度、開催しています。国内外の最新動向の共有や認証製品の普及に取り組む企業の事例発表などを通して、企業・団体間の情報交換やネットワークづくりを目指します。毎年、開催前に各担当者へメール通知が送られますので、案内に沿ってお申込みください。認証製品の展示やサンプル・資料配布なども行います。  
※2023年度はFLJ30周年イベント開催のため実施していません。



## ●販路開拓・企業間連携サポート

認証事業者の販路開拓のための営業活動や、企業間連携のコーディネート、フェアトレードに取り組む企業や自治体・タウン活動との連携構築など、認証製品の普及に繋がる取り組みをサポートします。ご要望がある場合は、随時ご相談ください。

## ●社内事業（社内教育、社内販売会等）支援

認証事業者の社内外の理解促進のための勉強会等への資料提供や講師派遣、社内販売会の実施などのサポートを行います。ご要望がある場合は、随時ご相談ください。

## 普及啓発活動

### ●全国フェアトレード普及啓発「ミリオンアクションキャンペーン」

5月のフェアトレード月間に全国規模でフェアトレードの認知向上、購買促進のための啓発キャンペーンを2021年より実施しています。認証事業者をはじめ、全国の小売店や飲食店、企業、学校、自治体、タウン運動実施団体が連携し、共同で消費者に対して呼びかけを行います。共通デザインのポスターやPOPなどの印刷物の提供や、ウェブサイトでの商品・イベント紹介やロゴ掲載、協賛金額に応じた特典を用意します。



### ●講演・セミナー

国際フェアトレード認証ラベルの普及推進、およびフェアトレードの教育啓発活動として、イベントやセミナー、シンポジウム等での講演活動を行っています(有料)。フェアトレードが必要とされる背景や世界的な社会課題の国際フェアトレード認証の仕組み、フェアトレード最新動向等の内容に関する講演の依頼は[お問い合わせフォーム](#)から受付しています。

### ●学生との連携・普及啓発

FLJでは、大学生インターンの受け入れや、フェアトレードに取り組む大学との連携、社会問題をツアーにして発信・共有するプラットフォーム「リディラバ」が実施する「SDGs／社会問題スタディツアー」の受け入れを行い、フェアトレード普及を推進しています。学生との連携についての相談は随時お問い合わせください。

# 年間カレンダー

認証・ライセンス事業やフェアトレードのマーケティング関連行事



Q1

Q2

Q3

Q4



Q4  
販売報告  
(未締め)  
年間認証  
料の請求

ライセン  
ス料の支  
払い (年  
間分を含  
む)

FOODEX  
JAPAN  
(生産者  
来日)

3/8:  
国際女性  
デー

1/1:  
元旦

2/14:  
バレンタ  
インデー

Q1  
販売報告  
(未締め)

ライセン  
ス料の支  
払い

フェアト  
レード月  
間キャン  
ペーン

第2土曜:  
世界  
フェア  
トレード  
デー

環境月間

6/12:  
児童労働  
反対世界  
デー

4/22:  
アース  
デー

4/24:  
ファッ  
ションレ  
ボリュー  
ション  
デー

Q2  
販売報告  
(未締め)

ライセン  
ス料の支  
払い

7/7:  
国際チョコ  
レート  
デー

8/23:  
奴隷貿易  
とその廃  
止を記念  
する国際  
デー

SCAJ:  
(生産者  
来日)

SDGs  
週間

9/21:  
国際平和  
デー

Q3  
販売報告  
(未締め)

ライセン  
ス料の支  
払い

10/1:  
国際コー  
ヒーの日

10/7:  
世界コッ  
トンデー

10/16:  
世界食糧  
デー

10/17:  
貧困撲滅  
のための  
国際デー

11/20:  
世界子ど  
もの日

12/2:  
奴隷制度  
廃止国際  
デー

12/10:  
人権デー

## 6. リンク集



リンクが切れている場合は、最新のバージョンをCONNECTドキュメントよりご覧ください。

## リンク集

## 規定関連

	直リンク(2023/12現在) ※更新があった際にファイルが見つからない場合があります。→ (古いバージョン)	掲載元 左が見つからない場合はこちらから
ラベルについて	<a href="#">認証ラベルの種類について(説明書き)</a>	FLJ フェアトレードとは
	<a href="#">認証ラベルの使用マニュアル(定型文集)</a>	<a href="#">FLJ メディア掲載ページ</a>
	<a href="#">認証ラベルデータ(PNG/EPS)のダウンロード</a>	<a href="#">CONNECTドキュメント&gt;ラベル</a>
	<a href="#">認証ラベル使用規定(全ページ)</a>	<a href="#">CONNECTドキュメント&gt;ラベル</a>
	<a href="#">コットン認証ラベル使用規定</a>	<a href="#">CONNECTドキュメント&gt;ラベル</a>
	<a href="#">化粧品類製品規定</a>	<a href="#">FLJ 規定書・申請書ページ</a>
認証・監査について	<a href="#">トレーダー基準(v2.0 2024/4/16) NEW</a>	<a href="#">FLJ 監査ページ</a>
	<a href="#">トレーダー基準解説書(2022/03/15 版)</a>	<a href="#">FLJ 監査ページ</a>
	<a href="#">様式C 製造委託申請書 (V4.0)</a>	<a href="#">FLJ 規定書・申請書ページ</a>
	<a href="#">例外規定 (R-20)</a>	<a href="#">CONNECTドキュメント&gt;ラベル</a>
	<a href="#">監査の概要とポイント</a>	<a href="#">FLJ 監査ページ</a>
	<a href="#">認証・監査規定 (V4.0 2024/3/25)NEW</a>	<a href="#">FLJ 規定書・申請書ページ</a>
	<a href="#">監査確認項目リスト (V3.16)</a>	<a href="#">FLJ 監査ページ</a>
	<a href="#">様式P 原料購入・製造報告書 (V1.0)</a>	<a href="#">FLJ 規定書・申請書ページ</a>
	<a href="#">監査報告書</a>	<a href="#">CONNECT ドキュメント&gt;基準</a>

# リンク集

## フェアトレード関連資料

	直リンク(2023/12現在) ※更新があった際にファイルが見つからない場合があります。→ (古いバージョン)	掲載元 左が見つからない場合はこちらから
Fairtrade Japan	<a href="#">フェアトレードポスター・チラシのダウンロード</a>	FLJ 資料ページ
	<a href="#">フェアトレード・ジャパン事業報告書 (日本の動向)</a>	FLJ フェアトレード・ジャパンについて
	<a href="#">Fairtrade International年次レポート (世界の動向)</a>	FLJ 資料ページ> レポート
	<a href="#">モニタリングレポート (フェアトレードの広がりと効果)</a>	FLJ 資料ページ> レポート
	<a href="#">営業用フェアトレード最新動向資料 (編集可)</a>	CONNECT ドキュメント> 資料
	<a href="#">人権環境デューデリジェンス(HREDD)とフェアトレード</a>	CONNECT ドキュメント> 基準
Fairtrade International	<a href="#">Fairtrade Riskmap (HREDD資料。 産品・国別リスクを可視化)</a>	—
	<a href="#">Fairtrade Standards (生産者基準各種ほか)</a>	—
	<a href="#">Fairtrade Minimum Price and Premium Information (産品・国別の最低価格とプレミアム情報)</a>	—
	<a href="#">Top 7 Products Dashboard (トップ7産品の生産者・プレミアム情報)</a>	—
	<a href="#">Fairtrade Library (各種出版物)</a>	—
	<a href="#">Fairtrade Farmers Documentary (農家ドキュメンタリー)</a>	—
FLO-CERT	<a href="#">Customer Search (認証事業者の検索※FLJ,ANZ認証組織を除く)</a>	—
	<a href="#">Fairtrade Fee Calculator (FLOCERT認証料の試算)</a>	—

# リンク集

## 情報発信・普及関連

	直リンク(2023/12現在)	掲載元
FLJ	<a href="#">フェアトレード製品検索 Product Finder (登録はCONNECTより)</a>	FLJ 製品紹介ページ
	<a href="#">フェアトレード ブランドリスト</a>	FLJ 製品紹介ページ
	> <a href="#">ブランドリスト登録申請フォーム</a>	—
	<a href="#">フェアトレード・パートナー制度 (コーヒーロースター)</a>	FLJ 参加しようページ
	> <a href="#">パートナー登録フォーム (焙煎店対象)</a>	—
	<a href="#">国際フェアトレード認証ラベルの掲載について</a>	FLJ フェアトレード・ジャパンについて
> <a href="#">ラベル使用許可申請フォーム (ライセンス以外)</a>	—	
SNS	<a href="#">Youtube FLJアカウント (動画リンク・埋め込みフリー)</a>	(@FairtradeLabelJapan)
	<a href="#">Instagram FLJアカウント (学生インターンチーム)</a>	(@fairtradejpn)
	<a href="#">Facebook FLJアカウント</a>	(@fljapan)
	<a href="#">X FLJアカウント</a>	(@fljp)
	> <a href="#">SNS投稿申請フォーム (FLJからの紹介依頼)</a>	—
	<a href="#">FLJ メールマガジン登録</a>	—
その他	<a href="#">ミリオンアクションキャンペーン特設サイト</a>	—
	<a href="#">フェアトレード・ジャパン 寄付募集特設サイト</a>	—



**FAIRTRADE**  
JAPAN